

グループホーム柳河内 B

地域密着型サービス自己評価票 (網掛け部分は外部評価も行う調査項目)

取組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取組んで いきたい 項目	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	11	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	社名変更によりH19年7月に新たに開設となる。H20年3月より新しいスタッフを迎え入れた状態にて、既存の理念で対応している。	0	
		2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	業務に入る前に、理念を復唱し確認している。理念に基づき、地域の中での、かかわりや、役割をケアプランに組み込んでいる。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	ご家族には、訪問時及び運営推進会議で、理解を得られるように伝えているため、来訪回数が多い家族と地域の少数の方には理解を得ていると思う。浸透するまでには時間を要する。	1	浸透するまでには、時間を要するため、広報誌、縁便りに掲載し、家族及び地域の方に理念を理解していただけるように努め、地域の方にホームを開放し交流機会を増やしたい
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	2	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常的に散歩及び、地域の活動等の参加時挨拶や話をしている。近隣の方より、花などの差し入れがあり、その際、ホームのへ来訪見学等をしていただけるよう声かけしている	0	
		5	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	公民館で行われるサークル活動に、参加希望が相あり、体験等を行い、保育園で行われる行事等には参加できているが、回数が少なく地域住民の一員として双方が支えあうような関係までには至っていない。	1	地域活動の情報を多く得るように努め、地域の一員として利用者の方にあつた活動や役割を考えて実践していきたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地 え域 合と いの	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	利用者の家族および地域の方から、介護に関する相談を受け、老々介護による高齢者家族のレクリエーション参加、希望によりお正月等の宿泊の受け入れを行った。退所された利用者およびご家族と連絡を取り、ホーム内で行われる行事参加を促している。	1	積極的に勉強会に参加し認知症ケアの啓発に努め、ご家族、地域の方へ、認知症に関する相談等をしやすいホーム作りに努める。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価 5 項目・外部評価 4 項目	4	
		7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の意義、目的について、スタッフ会議時、理解できるよう勉強会を行っている。	1	初回の外部評価にて、結果は真摯に受け止めスタッフと改善対策の検討に努める。
	3 理念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームの活動やサービスの実際を報告し、意見交換を行っている。地域の情報や、連携を得る機会になっている。ご家族の参加率が少なく	1	ご家族のホーム訪問率は高いが推進会議の参加率が低い。出来るだけ多くの家族に参加いただけるよう、推進会議を行う曜日等を変えるなどして、ご家族参加率上昇に努める。
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	社会福祉協議会や、介護保険課の方と入居者の介護サービスについて、相談や、助言を受けている。	1	市町村に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みについて、相談し関係作りを積極的に行う。
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度について、資料等を作成し勉強会を行っているが、今現在の入居者の方で必要な方はいないので、活用できていない。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関する報道があったので資料を作成し、勉強会を行っている。言葉の暴力については、言葉遣いだけでなく、声のトーンや、表情、しぐさなどで、威圧感を与えないよう指導中である。	1	外部で行われる研修等に参加する機会を増やし、スタッフ間同士で、注意しあえる関係作りを行う。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	2	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、時間をとって、納得を得よう、ご家族に応じて、事例を挙げて、詳しく説明している。契約書を口頭だけで説明するのではなく、場合によっては、同意書をお願いしている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に利用者様も自由に参加され、参加された家族や地域の方が、利用者の気持ちや意見を聞くことが出来るように配慮している。	1	茶話会などを設けて、利用者の意見を聴く機会をふやしていきたい。
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が訪問されたとき、近況報告を行っている。面会が遠のいている家族には、電話や手紙で報告している。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の、意見や不満、苦情等対して、ご意見を準備するも、投函されたことが一度もなく、現在は使用されていない。意見や要望などを気軽に言える関係作りに努めている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議及び座談会を設け、コミュニケーションを図り運営に反映するよう率直に意見交換はされているが、不満や要望、については、出来ることから解決している。	1	運営者や管理者との個人面談を定期的に行い自由に話し合える機会を設けたい。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	日勤帯は、3名~4名の勤務体制である。利用者の状態や生活の流れに応じ、勤務者数や、勤務時間を調整している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 理念の実践体制	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者、家族の信頼関係を築くために、職員の離職、異動がやむ得ない場合、引継ぎの面で努力している。日ごろよりユニット間の交流に勤めている。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5 人材の育成と支援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集や採用に関して、何も制限していない。職員の能力を勘案しその能力が発揮できるようかわりを持つ努力をしている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	理念を踏まえて、尊重や思いやりを意識した声かけ等はおこなっているが人権啓発の取り組みが積極的とはいえない。	1	人権に関して意識を喚起する取り組みを考える。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内外の研修には、なるべく多くの職員が受講できるようにしている。スタッフ会議で報告し、学ぶ機会をつくっている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている		0	
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	月1回職員が幹事を行い、座談会を開催している。職員との親睦の機会をもうけている	1	他の事業所との交流、親睦の機会を推進する。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は、現場に来て、利用者とスタッフと過ごすことがある。職場環境や、スタッフ一人一人が意欲や向上心を持って、働けるよう努めている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2 (自己 25～34・外部 15～16)				自己評価 10 項目・外部評価 2 項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)			自己評価 4 項目・外部評価 1 項目	0	
	1 相談 から 利用 に至 るま での 関係 づく りと その 対応	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者より、相談があったときは、本人の思いに向き合い、出来るだけ話を聴くようにしている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の思いをゆっくり傾聴できるように、勤務変更、および業務変更を行い工夫している。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、本人や家族の思い、生活状況を把握し、改善に向けた支援の相談を繰り返す中で、信頼関係を築きながら、必要なサービスに、つなげるようにしている。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居時、ご家族も一緒に宿泊していただいたり、本人が眠りに付くまで、ご家族に協力していただくなど、本人が安心して納得が出来るように努めている。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)			自己評価 6 項目・外部評価 1 項目	0	
係り とこ れな 関係 づく り の 支 援	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人が得意とすることが出来るような関わりを行い、お互いが、協働しながらの生活が出来るように、場面作りや、声かけを行っている。利用者より、いたわりの言葉に励まされている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	近況報告のとき、問題行動だけを伝えるのではなく、ポジティブな表現を行い、本人が家族と一緒に過ごす時間を増やせるよう努力している。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人、家族の思いや状況を見極め、外出や外泊など家族と一緒に過ごす時間を増やし行事に家族の参加を促し、より良い関係の継続に努めている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	なじみの知人と交流するために、定期的に自宅へ外出できるように促し、継続できるように努めている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係性について職員は、皆で楽しく過ごす時間や場面作りなど調整役となって支援しているが、新しく慣れていない職員は、支援が出来るとまではいえない。利用者把握に努めている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	日々のかかわりの中で把握するように努めている。言葉や表情などからその真意を、察し、それとなく確認するようにしている。意思疎通が困難な方には、家族とはなしあっている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価17項目・外部評価6項目	2	
	1	一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)		自己評価3項目・外部評価1項目	0	
	1 の 一 把 人 握 ひ と り	35 外 部 評 価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で、把握するように努めている。言葉や表情などから、真意を察し測ったりそれとなく確認できるように、個別での外食を試み、話を聴く時間を作るようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族及び関係者関係者などから聞き取りを行っている。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	スタッフ間で情報交換等を行い、本人の全体像を把握できている。新規の職員においては、時間を要し研修中である。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や、家族には日ごろの関わりの中で思いや意見を聴き、反映をさせるようにしている。	0	
		39	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の遂行状況、効果などを評価する家族の要望、本人の要望に応じて見直しを行っている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルがあり食事、水分、排泄など身体的状況及び、気づきなどを記録している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	し3 た柔軟な支援	41	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所の方針として同系列のデイサービスの利用者が在宅での生活が困難になった時、当ホームの利用も選択肢の、一つとして、あげている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方の催しなどは定期的に行なわれている。消防訓練を行う際、消防署の方に指導いただいている。	0	
	4	本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	ご相談があったとき、まず当ホームの、ご利用が本当に、適切かどうかを考えるようにしている。さまざまなサービスの紹介やたの事業者	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に、地域包括支援センターの職員が、参加するようになり、これをきっかけに、関係が強化された。情報協力を得て協力関係を、築いている。	0	
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所協力医（在宅医療機関と家族が契約）の定期的に往診を利用している。24時間いつでも相談をすることができる。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	往診医に、情報提供や相談をしている。その際、適切な指示や、助言をしていただいている。また定期的に物忘れ外来等をすすめている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を配置して、利用者の健康管理や状態変化に応じた支援を行なえるようにしている。 (かなざわクリニックへ24時間相談ができる。)	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時本人への支援方法に関する情報を、医療機関に提供を行なっている。入院先の医療関係者と症状の確認を行い早期退院に向けた支援を行っている。	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療連携同意書の説明の際重度化した場合や、終末期の説明を行なっている程度である。終末に対する対応方針を定め、家族、医師、看護師、介護職員を交えて、話し合いが執拗と考える。	1	話し合いの機会を作り、関係者全体の方針の統一を図る。重度化に伴う意思確認書を作成する。終末期における具体的なマニュアルを作成する。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度や、週末の利用者を支えるために、チームの連携や、職員の力量、諸条件などを備え準備が必要である。	1	話し合いの機会を作り、関係者全体の方針の統一を図る。重度化に伴う意思確認書を作成する。終末期における具体的なマニュアルを作成する。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	これまでの、暮らしの継続性が損なわれないように、これまでの生活環境、支援の内容注意が必要な点について、説明し定期的に電話連絡を取っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	4	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	4	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0	
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の話を傾聴し思いを否定しない対応とさりげない対応などを心がけている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々の生活の中で、本人が意思表示ができるような、声かけをしながら、決定できるように支援している。(服の選択、外出、外食先の選択、食事のメニューなど)	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、一人ひとりの状態や思いに柔軟な対応に勤めている。起床時間、食事の時間など本人のペースに合わせている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の意向や好みによって選べるように援助できている。自ら化粧をされている方にはできる限り長く続けられるように支援している。訪問理美容と本人の望む理美容の洗濯ができるようにしている。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニュー作りから利用者方の意見を取り入れ、利用者の方と一緒に、調理、準備、後片付けを行っている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	一人ひとりの嗜好物を理解している。本人の様子や、時間を見ながら、それらを楽しむことができるように支援している。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表や、その方の動作によって、声かけ、確認を行ない、トイレ誘導を実施している。オムツの方も、日中は、パンツを使用し、トイレでの排泄を心がけている。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の順番の好み、その人の入浴時間、入浴方法など、ゆったりと気持ちよく入浴ができるように配慮している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動を通して、生活リズム作りを意識的にいき、寝つきの悪い方には、ホットミルクなど温かい飲み物を勧め、ゆっくり話を聞くなどの、対応をしている。その方に応じ起床時間を考慮している。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの趣味や、できることを把握し、楽しみや、活動ごと、役割、出番を見出す場面を作るよう支援している。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	財布を持っている方には、財布からの支払いを実施、財布の中身は、家族と相談し、その方に合わせた支援を行っている。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望や、楽しみごとにあわせて、外食や、コンサート、ドライブ、地域の行事参加など、日々の散歩や買い物など、外出の機会をできるだけ作っている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	本人の希望するところへの外出は、できる限り計画し、実施するようにしている。家族との外出を楽しみにされており、外出、外泊の支援を行っている。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や、知人の方とのつながりを保っていたくために、電話の通信や毎月絵手紙を書いて家族等に送っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族や、知人の方が訪問されると、飲み物等を提供し、居心地よく過ごせるよう雰囲気作り努め、面会時は、ゆっくり過ごされている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	3	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	高齢者の権利擁護、身体拘束に関する勉強会を通じて、正しい理解を図っている。介護上の工夫を実践している中、再度の転倒事故があり、家族の強い希望にて、抑制帯使用の利用者の方がおられるが、日々の生活の中で、抑制帯を、外す時間を設けている。	0		
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	Bユニットは、2階にて階段が急で、排泄誘導時、目を話した間に、戸を開け、出られようとするされることが度々あり、そこには鍵をかけている。	1	スタッフの目の行き届いているときは、鍵を開け、戸を開け、開放的にして対応している。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員1名は、必ず、リビングでかかわりや記録などの作業を行ないながら、見守りを行なっている。居室内で過ごされているときも定期的に声かけを行い、様子を確認している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	すべてを取り除くのではなく、利用者の状況変化によっては、注意を促していくなどその方に応じて対応している。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者の状態から予測される危険を検討し事故防止に取り組んでいる。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当や、余生術の研修を受けているが一部の職員に限られている。すべての職員が実際の場面で、対応できるように、定期的に勉強会や、訓練を実施していく。	1	消防署の協力を得て、応急手当や蘇生術の研修を実施する。応急手当の勉強会を実施する。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に2回避難訓練実施し消防署の指導を踏まえ、避難経路や、避難場所の確認し、自主訓練を行っている。地域での協力隊背については、運営推進会議で協力をお願いしている。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	家族と利用者の状況を確認しながら、起こりうるリスクについて説明している。	1	転倒リスク表を作成し、転倒率を家族に報告している。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	1	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日、健康チェックを行い、把握できている。体調に変化があるとき、看護師、及び訪問医に報告するようにしている。訪問医より予測されることや、注意点などの指導をうけている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬を防ぐため、看護師が薬を準備し、介護スタッフが薬を配布するときに、名前と日にちの確認を声を出して確認している。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分を多めに摂取し、繊維質の多い食材や、牛乳を毎朝欠かさず飲むようにしている。健康体操の時、腹部マッサージを、取り入れて行うようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組 んでい きたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアの声掛けを行い見守りや介助を行っている。訪問しかを利用し定期的に、歯科検診を行い、口腔内のチェックを実施している。	0		
		79 外部評価 31	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリーや、栄養バランスを考慮し、旬の食材を使用しスタッフが調理おこなっているため、利用者の方の状態に応じた支援を行っている。1日30品目を目標に食材を調整している。10時・15時・20時に、飲み物を提供し、食事の際のお茶に関しては、全部飲まれるように促している。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染防止対策として、資料を作成し、勉強会を行っている。利用者にも、食事の前の手洗い、うがいをするように促している。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理を行う際、手洗いを徹底し、エプロンを着用する。調理用器具は、食器乾燥機を使用し、衛生管理に努め、冷蔵庫の食材点検を定期的に行い、清掃を適宜行い記録を書くようにする。	1	週3度の買出しにて新鮮な食材を取り入れている。肉や魚は、冷凍保存し、2日～3日で調理するようにしている。	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)～(2) (自己 82～89・外部 32～33)			自己評価8項目・外部評価2項目	0	
	2 生活の環境づくり	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82～86・外部 32～33)			自己評価5項目・外部評価2項目	0	
		82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前にプランターや、鉢植えを置き、玄関には、花瓶を置いて、明るい雰囲気大切にしている。玄関に掲示板を設置し、地域の広報誌や、行事などを掲示している。	0		
		83 外部評価 32	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下の壁には、行事の写真などを貼り、リビングには、ソファや、カレンダー、新聞、雑誌などを置き、生活観を出している。テーブルには、季節の花が切れないように飾っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングには、テーブル席ソファが設置してあり利用者の方が、ゆっくりくつろげる空間となっている。利用者の方が自由に過ごせる場所となっている。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家具類の設置は、入居時に本人や、家族と相談し、安全面を考慮しながら、行っている。馴染みのたんす等は大きすぎたりするため、新しく、部屋の大きさにあった家具等を買われて準備されている。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝、窓を開け、換気に努めている。室温調整や、湿度にも配慮している。エアコンや、加湿機、床暖房なども、設置している。トイレ、浴室の換気扇は、24時間つけており、冬期には、ヒーターも、それぞれ、設置している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや、浴室は、車椅子の方でも、介助者が楽に入れるスペースになっている。居室内や、廊下、トイレに手すりを設置している。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者の話をよく傾聴し、本人が、何を訴えているのかを見極め、適切な対応を心がけている。意思疎通が困難な方も表情や行動を観察し、スタッフと話し合いながら、本人の自立支援につながるケアを検討している。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	1階への、バルコニーへ時折降りて、畑や、プランターなどを、いつでも観察でき気分転換を図っている。畑の作物の収穫を利用者とともにやっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。